



子どもの安全対策委員会 活動報告



松原市セーフコミュニティ 子どもの安全対策委員会

報告者 : 子どもの安全対策委員会 委員長 森脇 英明
所属 : 松原青年会議所 理事長

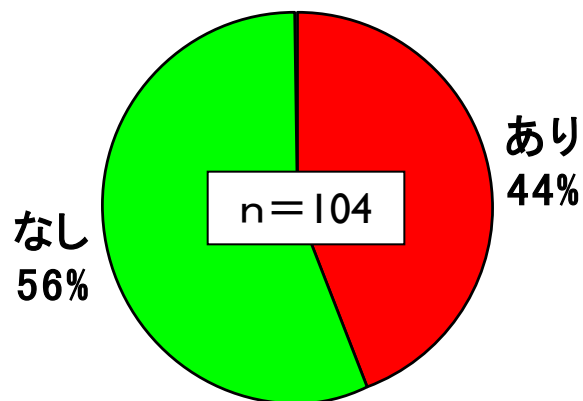


子どものおかれている状況

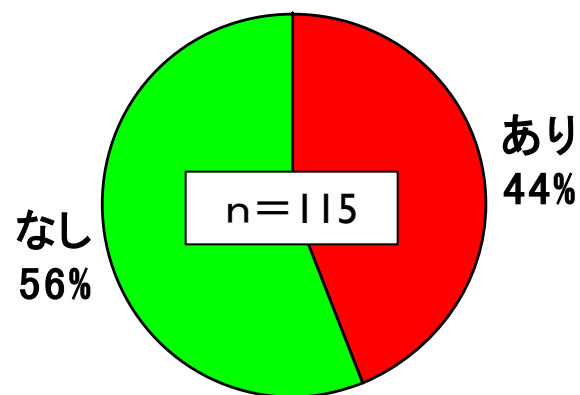
過去1年間の医療機関を受診したけがの経験

出典: 2011けが及び安全安心に関する実態調査アンケート

就学前児童のけがの世帯割合
(就学前児童のいる世帯中)



小学生のけがの世帯割合
(小学生のいる世帯中)



アンケートの結果、過去1年間に医療機関を受診したけがをした小学生や就学前児童のいる世帯は、44%あることが判った。

アンケートの送付及び回答数から

就学前児童のいる世帯(n=104)の全世帯推計は2,661件

小学生のいる世帯(n=115)の全世帯推計は5,699件であると考えた。

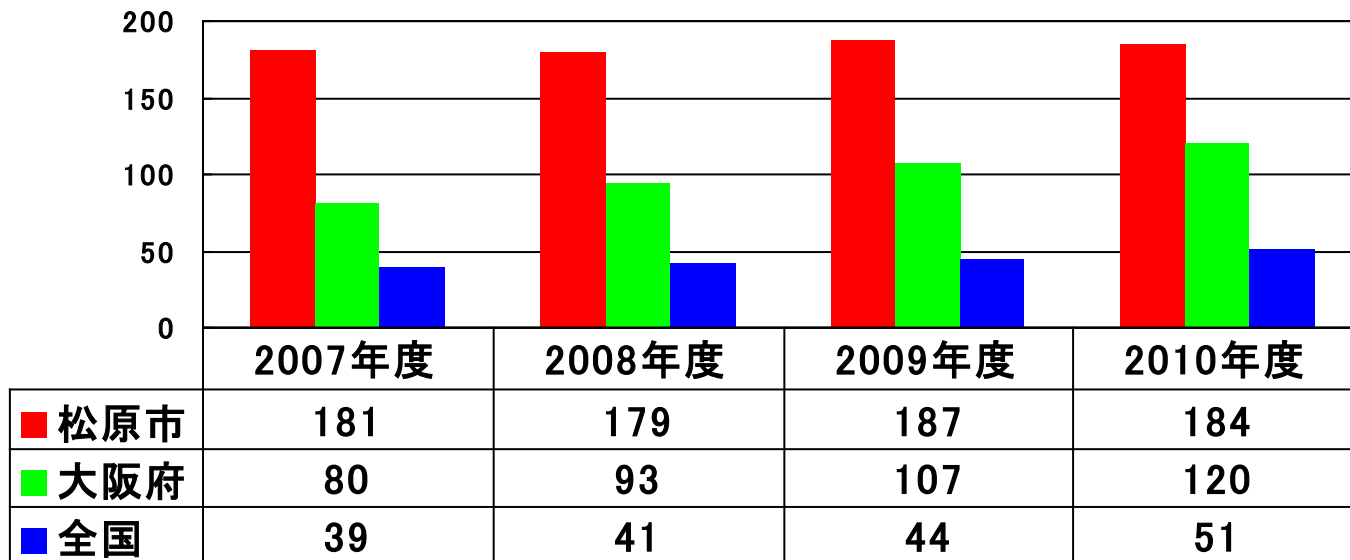


子どものおかれている状況

10万人あたりの児童虐待にかかる年間相談件数の推移

出典：厚生労働省福祉行政報告例

(件/10万人)



人口10万人あたりの児童虐待相談件数が多い。ただし、これまでの取り組みにより、相談しやすい環境が整っているため相談件数が多いという見方もできる。



子どもの安全対策委員会の構成団体

住民組織

松原市安全なまちづくり対策協議会(1)

松原市PTA協議会(2)

松原市青少年指導員協議会(2)

松原市こども会育成連絡協議会(2)

松原市民生委員児童委員協議会(1)

松原青年会議所(2)

松原市更生保護女性会(1)

教育関係組織

松原市立松原東小学校(1)

松原市立保育所長会(1)

松原市立幼稚園長会(1)

行政機関

松原警察署(1)

富田林子ども家庭センター(1)

富田林少年サポートセンター(1)

松原市(8)

市政情報室・福祉総務課・子育て支援課
地域保健課・教育総務課・教育推進課
地域教育振興課・青少年課



子どもの安全対策委員会の取組の経緯

回	開催日	活動内容
第1回	2011年12月13日	セーフコミュニティの取り組みについての概要説明
第2回	2012年 1月19日	地域の安全状況の把握と課題の抽出・成果目標の検討
第3回	2012年 3月 7日	優先取り組みにかかる活動目標の検討
第4回	2012年 5月24日	取り組みにかかる評価方法の検討
第5回	2012年 7月13日	取り組み内容・役割分担についての検討
第6回	2012年 9月28日	プレ審査発表に向けた内容確認と調整
第7回	2012年10月29日	プレ審査
第8回	2012年12月26日	プレ審査のまとめと取り組みについて
第9回	2013年 2月12日	取り組みについて
第10回	2013年 3月22日	取り組みについて
第11回	2013年 5月22日	取り組みについて
第12回	2013年 7月24日	現地審査発表に向けた内容確認





就学前児童のけがの現状

過去1年間に医療機関に受診した就学前児童は、どこで、どうしてけがをしたのか。

出典:2011けが及び安全安心に関する
実態調査アンケート

	交通事故	転倒・転落	異物の誤飲	やけど	人・物との接触・衝突	その他	計
自宅内及びその周辺	0	12	0	1	8	2	23
道路・歩道	2	7	0	0	0	0	9
公園	0	1	0	0	0	0	1
保育所・幼稚園	0	5	0	0	5	0	10
その他	0	0	0	0	2	1	3
計	2	25	0	1	15	3	46

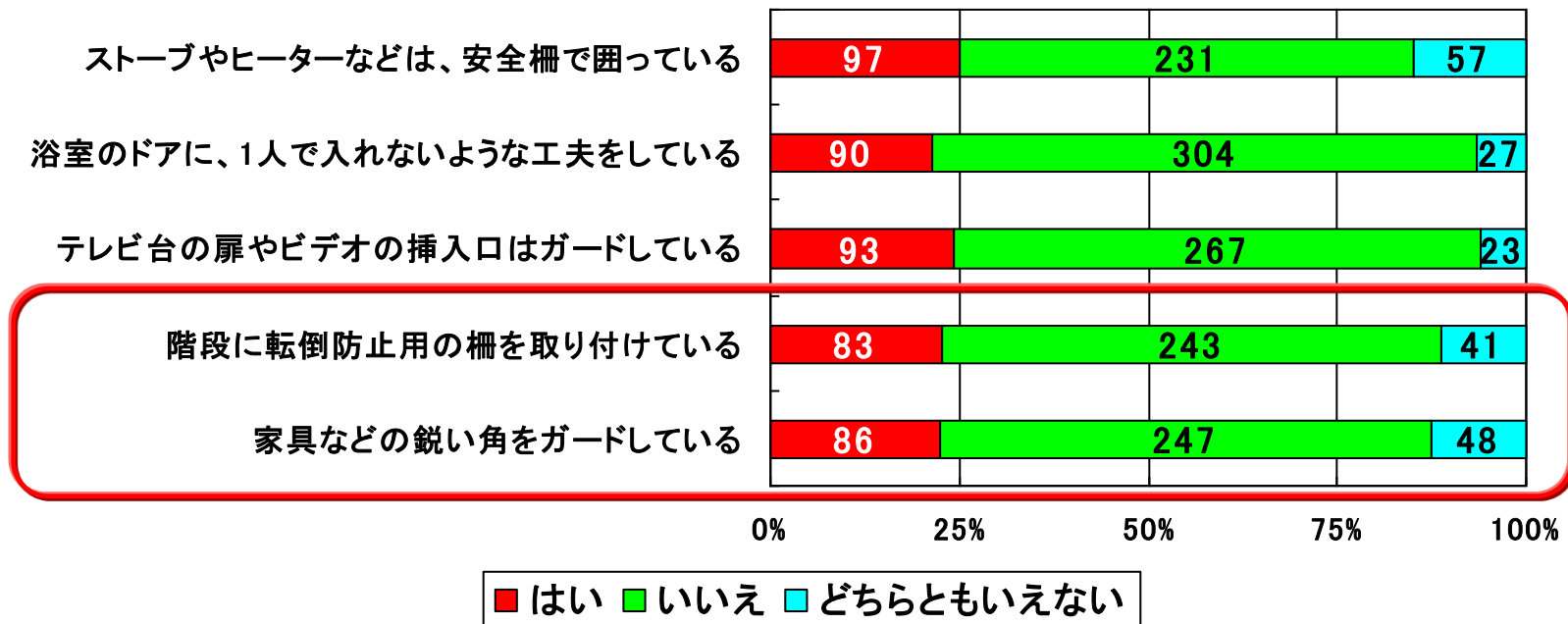
けがをした場所は自宅内及びその周辺が約50%、原因は転倒・転落が約50%となっている。



就学前児童のけがの現状

家庭での子どもに対する安全対策への意識は？

子どもの安全チェックアンケートより



n=421

子どもの安全チェックリスト32項目中の実施率ワースト5項目
転倒・転落による予防対策が実施されていないことがわかる。



小学生のけがの現状

過去1年間に医療機関を受診した小学生は、どこで、どうしてけがをしたのか。

出典：2011けが及び安全安心に関する
実態調査アンケート

	交通事故	転倒・転落	異物の誤飲	やけど	人・物との接触・衝突	その他	計
自宅内及びその周辺	0	4	0	0	2	2	8
道路・歩道	2	9	0	0	2	0	13
公園	0	0	0	0	0	1	1
学校	0	13	0	0	6	6	25
その他	0	1	0	0	0	3	4
計	2	27	0	0	10	12	51

けがをした場所は学校が約50%、原因は転倒・転落が約50%となっている。



学校でのけがの現状

小学校では、いつ、どこでけがが発生しているのか？

2010年度に松原市立小学校で発生した医療機関に受診したけが621件の内訳

出典：学校保険請求データ2010

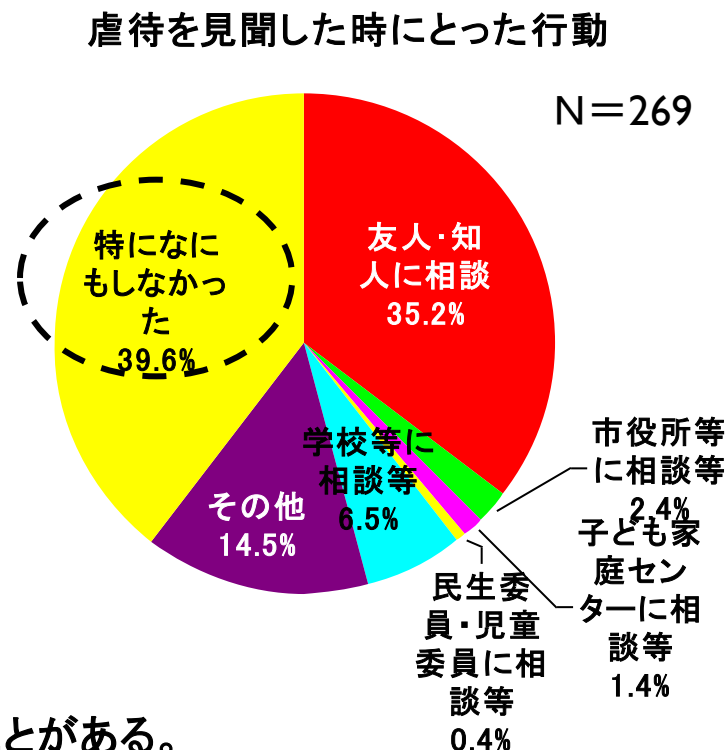
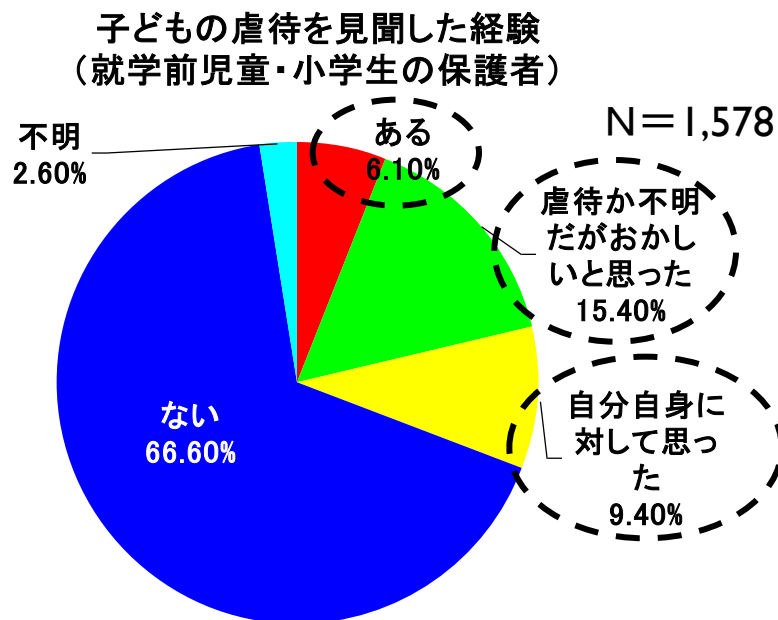
	教室	体育館	廊下 階段	その他 校舎内	運動場 校庭	その他 校舎外	道路	その他 学校外	合計	
体育授業中	0	68	0	0	56	1	0	1	126	20.3%
その他授業中	16	1	1	2	1	1	2	0	24	3.9%
給食	12	0	6	0	0	0	0	0	18	2.9%
清掃中	6	0	5	6	1	0	0	0	18	2.9%
その他特別活動	9	4	1	2	13	3	4	8	44	7.1%
休み時間	63	7	74	18	195	8	0	0	365	58.8%
登下校中	0	0	3	0	1	0	21	1	26	4.2%
合計	106	80	90	28	267	13	27	10	621	100%
	17.1%	12.9%	14.5%	4.5%	43.0%	2.1%	4.3%	1.6%	100%	

約60%が休み時間にけがをし、運動場・校庭で43%のほか、教室、廊下、階段でもあわせて約32%けがをしている。

児童虐待の現状

虐待を見聞したことはあるのか？
また、見聞した時にとった行動は？

出典：松原市次世代育成に関する調査
報告書（2009年3月）



約20%の人が、何かを感じたことがある。

また約10%の人が自分の行為に対して思ったことがある。

実質的な通報・連絡といった行動に移した割合は約10%。虐待としつけの判断が難しいことからの結果と考えられる。

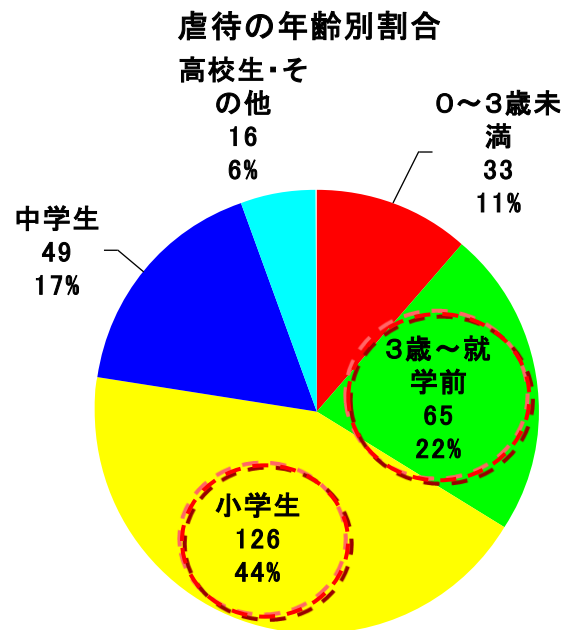


児童虐待の現状

出典：厚生労働省福祉行政報告例
2012年度

だれがどんな虐待をしているのか？

	養育の怠慢・拒否	心理的虐待	身体的虐待	計	割合
両親	22	14	5	41	14.2%
母親	113	67	25	205	70.9%
父親	3	14	7	24	8.3%
実母以外の母親	1		1	2	0.7%
実父以外の父親			1	1	0.3%
祖母	2	3	1	6	2.1%
その他	2	3	5	10	3.5%
計	143	101	45	289	
割合	49.5%	34.9%	15.6%		



虐待の半分が、ネグレクトと呼ばれる養育の怠慢・拒否であり、実母が全体の70%を占める。

3歳から小学生までの児童が全体の66%を占めている。



児童虐待の現状

出典：厚生労働省福祉行政報告例
2012年度

虐待の相談経路はどうか？

	養育の怠慢・拒否	心理的虐待	身体的虐待	計	割合
都道府県	11	10	7	28	9.7%
市町村	25	15	7	47	16.3%
児童福祉施設	15	9	9	33	11.4%
警察	2	1		3	1.0%
保健所・医療機関	13	1	4	18	6.2%
学校等	44	19	10	73	25.3%
児童委員	1			1	0.3%
家族・親戚	3	9	4	16	5.5%
近隣・知人	10	28	1	39	13.5%
その他	19	9	3	31	10.7%
計	143	101	45	289	

19%

児童虐待の相談経路では、学校等や公的機関の割合に比べ、近隣・知人、家族・親戚の割合が低い。

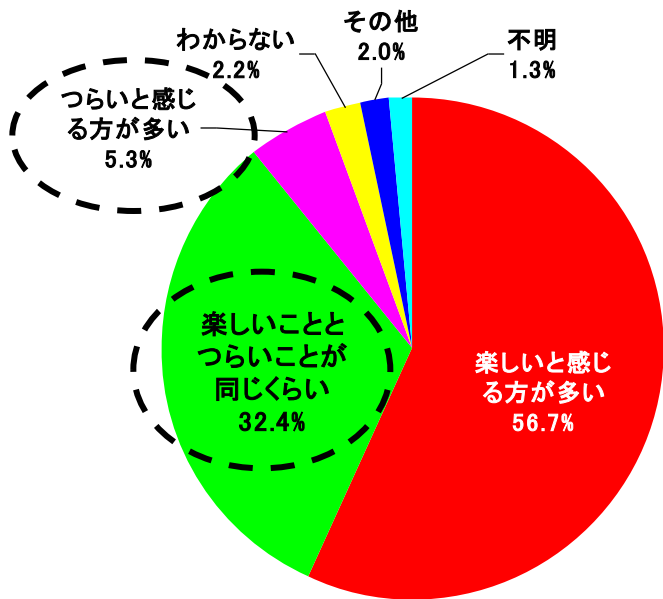


子育ての現状

子育てに対してどう感じているのか？

出典：松原市次世代育成に関する調査報告書(2009年3月)

子育てに対する意識
(就学前児童・小学生の保護者)

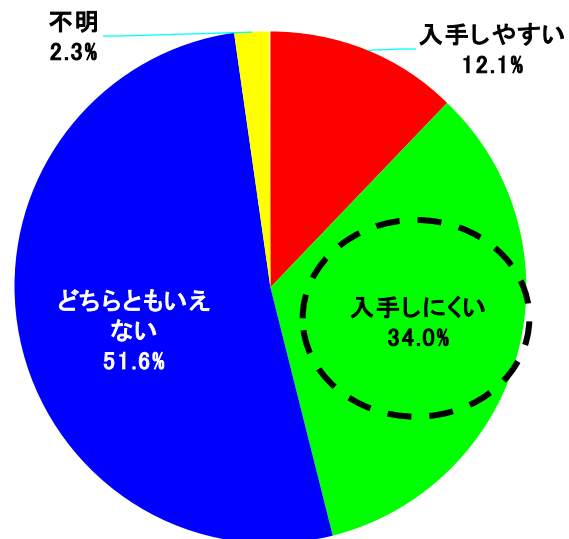


約38%の人が、つらいことがあると感じている。

子育て支援サービスの情報は十分か？

子育て支援サービスの情報入手のしやすさ
(就学前児童・小学生の保護者)

N=1,578



34%の人が、子育て支援サービスの情報の入手に困難を感じている。

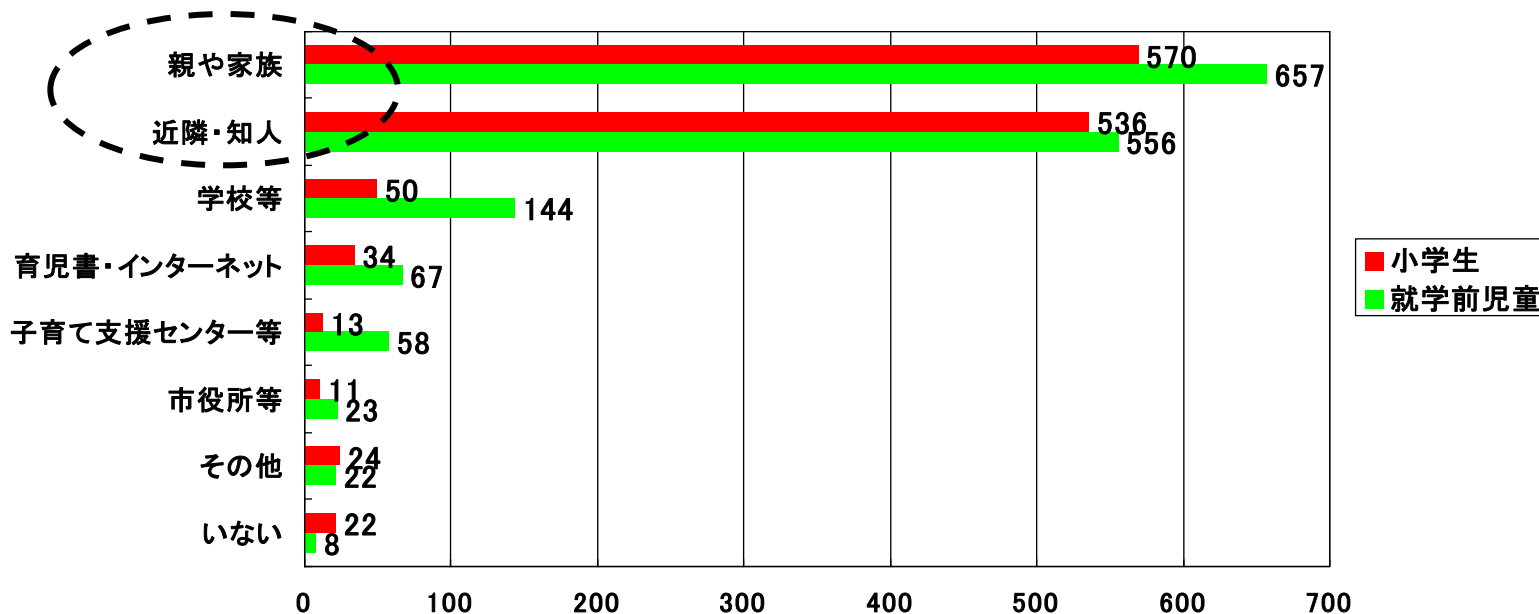


子育ての現状

子育てについて、だれに相談しているのか？

出典：松原市次世代育成に関する調査報告書（2009年3月）

子育てに関する悩みや不安の相談相手



相談相手としては、親や家族、近隣・知人が多いが、公的機関等への相談が少ない。



現状の分析

以上のことから、浮かび上がってきた課題は・・・

課題1 就学前児童は自宅内で転倒転落によるけがが多いが、十分な安全対策をしている家庭は少ない。

課題2 小学生は学校でけがをしている割合が多く、なかでも転倒転落によるけがが多い。

課題3 虐待を見たり聞いたりしても、特に何もしなかった人が多い。また家族や近隣知人からの虐待に対する相談は比較的少ない。

課題4 実母による虐待が多く、これは子育てに対する負担感が大きな要因の1つと考えられる。また子育て支援サービスの情報が入手しにくいと感じている人が34%あり、それらのサービスを有効に活用できていないことも考えられる。



テーマの設定と取組

課題1 → 取組① 自宅内の事故防止啓発 【拡大】

課題1 → 取組② 身体機能の向上 【拡大】

課題2 → 取組③ 校内安全マップづくり 【新規】

課題2 → 取組④ 校内安全対策活動 【新規】

課題3 → 取組⑤ 虐待に対する理解啓発 【拡大】

課題4 → 取組⑥ 子育て情報の充実 【拡大】



取組① 自宅内の事故防止啓発

対象：就学前児童（0歳～5歳）の保護者

目的：自宅内での危険な場所や、その安全対策の方法を知ってもらうことにより、自宅内の安全対策の必要性を認識し、予防意識を高め、自宅内での安全対策に取り組む。



実施内容：子どものけがや安全対策に関するリーフレット等を作成し、掲示や配布をする。

実績：1回発行

配布先：小児科、耳鼻科、皮膚科、子育て支援センターなど



〈リーフレットの内容〉



取組② 身体機能の向上

対象：就学前児童（3歳～5歳）

目的：普段の生活では使わない体の部位を積極的に動かすことにより、身体機能を向上させる。



実施内容：

幼稚園では右図のような体操を実施。
また、幼稚園や保育所での園庭開放時などに、準備体操を行ってから外遊びをしたり、身体全体を使った体操（幼児体操）や運動を楽しみながら行う。

実績：幼稚園（9園）・・・月1回
保育所（6所）・・・月1～2回

<p>1 ヒョンヒョン跳び⁴⁾ (両足をそろえて両手を挙げて跳び前・後ろに進む)⁴⁾</p>	<p>2 クマさん歩き⁴⁾ (四つん這いになって膝を付かないで前・後ろに進む)⁴⁾</p>	<p>3 ペンギンさん歩き⁴⁾ (立てひざで前・後ろに進む)⁴⁾</p>
		
<p>4 ワニさん歩き⁴⁾ (うつ伏せになり足を使わずに、腕だけで前を進む)⁴⁾</p>		<p>5 おいも転がし⁴⁾ (両手を上に挙げてのぼし寝転んだ上体で横に転がる。両側)⁴⁾</p>
		

〈幼児体操の内容〉



取組③ 校内安全マップづくり

対象：小学生（6歳～11歳）

実施場所：松原市立松原東小学校

目的：学校内ではどこで多くのけがをしているかを知り、危険な場所を認識する。



実施内容：

児童がけがをした際、校内地図のけがをした場所に印を付け、一目でけがをした場所がわかるような校内安全マップを作成する。

また、このマップを「取組④」でも活用する。





取組④ 校内安全対策活動

対象：小学生（6歳～11歳）

実施場所：松原市立松原東小学校

目的：児童自らが事故の注意喚起や安全対策を行うことで、安全に対する意識を向上させる。



実施内容：

取組③の結果などを基に、児童会で休み時間に注意喚起の放送等の活動を実施。また、取組危険箇所の整備を行う。

危険箇所の整備
(指はさみ防止)



校庭の一部芝生化

危険箇所の整備（段差解消）

施行前



施行後





取組⑤ 虐待に関する理解啓発

対象：市民

目的：家族や近隣の住民が、児童虐待のサインを見逃すことのないよう、児童虐待に関する正しい知識を身に付けるとともに、通報に対する意識の向上を促す。

実施内容：児童虐待に関する啓発活動を行う。



〈子育て講演会の様子〉

◎子育て講演会（2012年度実績）

子育てに関する講演会を実施し、子育てや虐待に関する正確な知識と共通の認識を持つ。

非行問題から子ども虐待と発達支援を考える	34人
児童虐待とステップファミリー	38人
地域におけるネグレクト家庭の支援について	58人
ひとりで悩まんとって！～地域で支える子育て～	28人



取組⑥ 子育て情報の充実

対象：子どもの保護者

目的：子育て支援に関する情報を入手しやすくし、子育て支援サービスを有効に活用していただき、子育てに対する不安感や負担感を緩和する。



実施内容：

子育て支援を行っている機関等が相互に連携・協力し、情報を持ち合う。また、市民のニーズにあった子育て支援に関するリーフレット等を作成し、掲示や配布を行う。

実績：1回発行

（配布先：小児科、耳鼻科、皮膚科、子育て支援センターなど）

子育て情報のメール配信サービスを実施

：2013年4月より開始（21件配信・登録者数157人）



評価指標

取組	成果 ①指標名 ②目標 ③確認方法 ④確認の対象			
		短期	中期	長期
自宅内の事故防止啓発	①	自宅内での安全対策に関する認知度	自宅内での安全対策の実践度	自宅内での事故件数
	②	予防意識の向上	自宅内での安全対策に取り組む世帯の増加	自宅内でのけがの減少
	③	アンケート調査(1年ごと)	アンケート調査(1年ごと)	救急搬送データ(1年ごと) アンケート調査(3年ごと)
	④	就学前児童を持つ保護者	就学前児童を持つ保護者	就学前児童 (0歳～5歳)
身体機能の向上	①	幼児の身体能力		自宅内での事故件数
	②	身体能力の向上		自宅内でのけがの減少
	③	体力測定		救急搬送データ(1年ごと) アンケート調査(3年ごと)
	④	就学前児童		就学前児童 (0歳～5歳)



評価指標

取組	成果 ①指標名 ②目標 ③確認方法 ④確認の対象			
		短期	中期	長期
校内安全 マップづくり	①	危険箇所の認識度	行動に注意する割合	校内でのけがの発生件数
	②	危険箇所に認識割合の向上	行動に注意する割合の向上	校内でのけがの減少
	③	アンケート調査(1年ごと)	アンケート調査(1年ごと)	災害共済給付データ(1年ごと)
	④	松原東小学校児童	松原東小学校児童	松原東小学校児童
校内安全 対策活動	①	危険箇所の改善率		校内でのけがの発生件数
	②	不具合・危険箇所の改善		校内でのけがの減少
	③	改善等の報告書での確認(1年ごと)		災害共済給付データ(1年ごと)
	④	学校施設		松原東小学校児童



評価指標

取組	成果 ①指標名 ②目標 ③確認方法 ④確認の対象			
		短期	中期	長期
虐待に関する理解啓発	①	児童虐待の正しい理解と通報先等の認識度	虐待の早期発見・早期対応件数	児童虐待に関する重篤なケースの発生件数
	②	児童虐待の正しい理解と通報先等の認識割合の向上	早期発見・早期対応件数の増加	児童虐待に関する相談・通報での重篤なケースの減少
	③	アンケート調査(1年ごと)	市事業統計(1年ごと)	市事業統計(1年ごと)
	④	全市民	0歳から15歳の子ども	0歳から15歳の子ども
子育て情報の充実	①	子育て支援への満足度		子育てに関する不安感
	②	子育て支援への満足度の向上		子育てに関する不安感の減少
メール配信	③	アンケート調査(1年ごと)		アンケート調査(1年ごと)
	④	子どもを持つ保護者		子どもを持つ保護者



現時点での到達点

自宅内・学校内でのけがに関わるもの

- 幼稚園と保育所など、それぞれの取り組み等を出し合うことで、情報の共有ができ、自団体での取り組みに活用できてきている。
- 学校内のけがについて、校内の危険箇所の改修や、児童の安全への意識向上につながりをみせている。
- 小学校でのけがの発生記録のシステム化が進んでいる。

虐待の防止に関わるもの

- 子育てや虐待防止の情報の発信について他団体との連携や協力が図られてきている。
- 子育て情報のメール配信サービスが始まりました。
- 啓発リーフレットが発行されました。



現時点での課題

自宅内・学校内でのけがに関わるもの

- 自宅内のけがの予防策が、不徹底。
- 児童の生活習慣及び身体機能とけがとの因果関係の分析。
- 学校内の安全を行う中で、地域との協働のシステム作り。

虐待の防止に関わるもの

- 親子の関係だけではなく、家庭と地域の関係の再構築。
- さらなる子育てや虐待防止の情報の発信体制の確立。
- 児童虐待に関する住民意識の詳細な分析。
- 児童虐待に対するリスク要因の分析。



今後の展開・方向性

自宅内・学校内でのけがに関わるもの

- 幼児体操の取り組みを各団体が実施できる方法を検討していく。
- 学校内における安全対策活動について、市内小学校の全校で実施できるよう取り組みを進めていく。

虐待の防止に関わるもの

- 各関係団体間の連携の強化を図っていく。
- 家庭と地域のつながりを強くする取り組みを行っていく。
- 子育てや虐待防止の情報の発信の方法や体制の検証を行っていく。
- 子育てに対する市民のニーズや、児童虐待に対するリスク要因の分析結果など様々な情報を発信していく。



ご清聴ありがとうございました

絆でつくる みんなのセーフコミュニティ まつばら